

ASOCIO 2012 総会・サミット報告

2012年11月15日にASOCIO総会、16-17日にASOCIO ICTサミット2012がスリランカ・コロンボで開催され、JISAからは五十嵐副会長・国際委員長、河野専務理事他が参加した。

ASOCIO総会では、次期会長にバングラデシュBCSのKafi氏が就任することが決定した。またJISAの五十嵐副会長・国際委員長（ASOCIO副会長）は財務責任者に選出された。

ASOCIOの今後のイベントとしては、2013年 年央役員会がミャンマー・ヤンゴン（2013年5月）、ASOCIO ICTサミット2013はタイ・バンコク（2013年9月）で開催されることが決定した。なお、2014年以降のサミットは、バングラデシュ、ベトナム等で開催される予定。

16-17日開催のASOCIOサミットでは、スリランカ国内から約100名、海外からは約60名（うち日本から20名）の参加があった。会議では、スリランカR. Siyambalapitiya テレコム・ICT大臣他の開会挨拶に続き、「ICTセキュリティ」、「モバイルとブロードバンド」、「クラウドコンピューティング」の3つのテーマのセッションが2日にわたり開催され、それぞれ各国からのスピーカーが講演とパネルディスカッションを行った。日本からはNTTデータ 東川淳紀氏が、セキュリティのセッションで講演とパネルディスカッションに参加した。

会議の前後には、ミャンマー（MCF）、ベトナム（VINASA）、スリランカ（FITIS）の各協会他とJISAとの今後の協力関係について事務局間で協議した。特に、ミャンマーの協会MCFの事務局長とは、1月下旬に企画しているJISAからミャンマーへのミッションについてのサポートを依頼した。

スリランカは人口2,000万人の小国であり、まだ英国統治時代の古いインフラに異存しているが、2004年開催時のサミットに比べ、会議自体の運営もソーシャルプログラムも非常にスマートになっており、内戦終結によって経済発展が進んでいる様子が感じられた。

外国からの観光客がよく訪れるショッピングセンターやレストランでは、iPhoneをPOS端末やクレジットカードの決済承認のための端末として活用しており、スマートフォンのビジネス利用では日本より進んでいる一面があった。発展途上国では従来型のPOS専用端末や商業用機器などが普及していない分、新しい技術やビジネスモデルを取り入れるのが先進国よりも早いと考えられる。古いスタイルにとらわれすぎず、変化に柔軟に対応していくことが重要ではないかと考えさせられた。

（国際部）